

た ら 大垣市立多良小学校 学校だより No5 令和元年 7月 19日

**多良**

学校の教育目標「めあてをもち 力を合わせて やりぬく子」

503-1625 大垣市上石津町宮38 TEL 45-2619 FAX 45-3096

HPアドレス <http://www.ogaki-city.ed.jp/tara/index.html>

Eメール [tara@ogaki-city.ed.jp](mailto:tara@ogaki-city.ed.jp)

## 成長した1学期！ 安全と健康に気をつけて充実した夏休みを！

毎朝元気な挨拶から一日が始まり、子ども達は元気いっぱい1学期間の学校生活を送ることができました。登校時に、遠くから先手の挨拶をする班がとて多くなりました。班長が「おはようございます」と声を出すと班員も一人一人が「おはようございます」と気持ちよい挨拶をしています。

朝の少しの時間を利用して、6年生が自主的にダンスを行い、それに加わって全校のほとんどの子が一緒に踊りながらダンスを覚えていく姿がありました。グラウンドに生える草を、朝の少しの時間にグラウンドに出て自主的に草取りする姿もありました。植えた野菜や花の苗に毎日水をやる姿がありました。自分から考えて動く姿がいろいろな場で見られました。

今年度は、「聞き方・話し方」の力を高めるために、聞き手の方を向いて話す、話し手の方を向いて聞く姿づくりのほかに、「比べて聞く・つないで表現する力」を高めようと取り組んでいます。「比べて聞いた」ことについて、「同じ」「付け足し」「ほかに」「質問」等を、ハンドサインを使って意思表示し、「〇〇さんに付け足しで・・・」とつないで発言し、自分たちで授業を作ることに取り組んできました。また、わからないところをそのままにするのではなく、自分から「〇〇までわかったけど、ここからどうなるの？」と友達に質問しにいく主体的な学習姿勢や、自分のノートを指さしながら、「まず、〇〇について説明します。次に〇〇になります・・・」と筋道立てて話す力をつけることに取り組んでいるところです。少しずつですが、友達の考えをよく聞き取り、そこに付け足していく姿、「〇〇について教えて」と自分から質問する姿が増えてきました。

自学については、ノート展を行い、友達のよいノートから学習の仕方を学ぶ機会も設定し、家庭学習の質の向上も図ってきました。これからも家庭学習の習慣化と量と質の向上に取り組んでいきたいと考えています。

いよいよ子ども達が楽しみにしている‘夏休み’に入ります。学校から家庭、地域の生活へと変わる中、どの子にとっても、**健康で安全な生活、学習や生活において自分の決めためあてをやり抜き、満足いく充実した夏休み**となることを期待しています。早寝・早起き・朝ごはんを続け、健康で規則正しい生活が送れますようよろしくお願いいたします。子ども達が地域で生活するときには、交通事故や水の事故などの危険（誘惑）が待ち構えています。保護者や地域の皆様方におかれましては、子ども達が危険な場所にいたり、危ない遊びをしていたりする場面に出遭われましたら、是非温かくも厳しさのあるご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。始業式には、子ども達の元気な姿を楽しみにしています



## 運動会結団式

結団式で運動会のスローガン「団のみんなで団結し、最後まで全力を出し切る」が児童会から発表されました。そこに込められた思いは、結団式の中での力強い団長の話と、団員全員の大きな声となって現れました。いよいよ運動会の取組が始まります。取組を通して生活全体の力も高めていきます。



## 自己肯定感を高めるために ～夏休みを利用して～

自己肯定感は、子どもが自ら主体的に学ぶために必要なものであるとも言われています。「自分はやればできる」と思えばこそ、学習に対して自らを動機づけることができ、自ら学ぶ目的を考え、自分にとって効果的な学習方法を選択して試しながら、学習し続けることができるからです。これから先の社会は変化が激しく、人は常に学び続けなければその環境変化に対応できないと言われています。だからこそ、自ら学び続けるための基礎ともいえる自己肯定感を高めることが大切です。

自己肯定感を高めることは、簡単ではありません。しかし、「自分は大切にされている」「自分は人のために役立っている」「自分は周りの人に認められている」という実感が持てることが自己肯定感を高めることにつながります。国立青少年教育振興機構の理事長鈴木みゆきさんは、「習慣となっているお手伝い」には子どもの自己肯定感を高める効果があると言っています。この時、「ありがとう」「〇〇さんのおかげでお母さんすごく助かったよ。」と感謝の気持ちを伝えることが大切です。また、「上手にできたね」「一生懸命掃除してくれたね。」など、できた結果はもちろん、その過程も褒めることも大切です。これらの言葉かけは、お手伝いが終わったらすぐに行います。褒めるタイミングも自己肯定感を高めるにはとても大切です。この繰り返しで、子どもの達成感や満足感を味わうことになり、自信につながっていきます。そして、「自分は人のために役立っている」「周りの人に認められている」という実感をもち、自己肯定感の向上につながっていきます。

夏休みは、お手伝いを継続して行う絶好の機会です。仕事から帰った時、洗濯物がたたんであったらすかさず「ありがとう。きれいにたたんであってすごいね。お母さんすごく助かるよ。」と声をかけてあげてください。これを続けて、お子さんの自信と自己有用感をぜひ高める機会としてください。



### 【お知らせ】

- この度、2年生の担任、岡田 愛咲 教諭は、出産のため8月31日より休暇を取ることとなりました。1学期間大変お世話になりました。2学期からは、新しく来る教員が指導にあたります。
- 7月30日が、一日停電となり、水道などの使用ができないため、閉庁日とします。また、8月13日(火)～16日(金)は閉庁日です。緊急連絡先は 〇〇〇〇 です。ご理解・ご協力よろしく申し上げます。

### 【8月9月の主な行事】

8月18日 資源回収(下地区) 親子奉仕作業(全地区)	8月21日 登校日・作品提出	8月25日 親子奉仕作業予備日 (全地区)
9月2日 始業式	9月7日 土曜授業	9月21日 多良小学校・多良地区運動会 (雨天順延)